



国際化の最前線から



国際化に結びつく地域の話題と SNS (海外)・ラジオ (地域) の活用①

株式会社 INCOM 代表取締役／プロデューサー 筒井 潤

地域に住んでいる外国人にも地域の話題が届く

SNS やラジオのメリットの1つは、地域に住んでいる人々に、地域の話題を届けやすいという点だ。これは、外国人住民に対してもあてはまる。

現在、INCOM では、国際化に結びつく独自の目線で、全国の自治体が日本から世界に向けて話題や課題を発信できる場を提供できないかと考えている。国際化推進の支援を目的に、自治体からの依頼に基づき、国際化に結びつくお知らせを、ニュースとして、さまざまな国の言葉で放送するというかたちだ。グローバル放送や PSA (public service announcement) のような形式で制作し、世界中へ放送できないか検討している。

多言語で伝えることのメリット

多言語で活動を知らせることで、多くの国際人に最前線メディアと認知してもらいやすくなり、結果地域のニュース、例えば国際化の宣言などを、世界中の人々に知ってもらいやすくなる。

それぞれの自治体がさまざまなコンテンツを持っている。INCOM では、発信したいことを日本語でできるだけ自治体にまとめてもらったあとは、自治体にとってあまり手間がかからないかたちで、放送を行えばと考えている。また、日本語→英語→中国語→その他さまざまな言語に対応したラジオを構想している。

例えば災害に備えて、INCOM は地元コミュニティー FM と話し合っている。その1つとして、現在葛飾区のコミュニティー FM 局と、半年にわたり番組研究を行っている。注意喚起や避難先、経路など災害時に求められる情報を多言語化した上で番組を制作しておき、時々放送することで、日本に住む外国人や観光での訪問客などにも、役立つ情報提供ができる。また、番組を聞いた人は、日本にも強い関心を持ってくれると考える。INCOM では、日本が安心親切で国際化された国と評判になるよ

う、取り組む。各自自治体には、関心があればぜひ相談してほしい。加えて、災害時のほか、知っておきたいことの相談も受けるので、ぜひ相談いただきたい。

今回、多言語対応の重要性および多言語対応に係る INCOM の考えを紹介した。次回は、これらについて、より詳細に伝える。



SNS で世界に発信する
日本各地の自治体の
公共情報

海外に向けて、日本の自治体が
多言語で配信
・自治体の産業情報
・SDGs 関連情報
※多言語 (3~5カ国語)

配信の目的

世界に・日本各地に
公共情報を発信
(1) グローバル情報
(2) 地域の外国人向け
の自治体からの
公共情報



ラジオで日本各地の
外国人に向けた情報

日本各地に向けて、日本の自治
体が多言語で配信
・地元の公共情報
(イベント、産業、農業、教育・子
ども関係、保健など、地元ならで
はの情報や役所からのニュース)

プロフィール

筒井 潤 (つつい じゅん)

- ・1947年東京生まれ。
- ・ビジネス映像の制作・海外CM研究。
- ・観光バス内で行う「バス旅エンターテイメント」バス旅ラジオ、バス旅ブックの発行。
- ・バス旅TV番組制作プロデューサー。
- ・映画館で学ぶビジネス講座 TOHO シネマズ「school by film Method」の制作 (ワールドビジネス サテライトで紹介)

ご相談は
<https://incominc.co.jp/>